

大阪府立柴島高等学校 学校運営協議会報告

1 開催日 令和2年12月18日（金曜日）18:00～20:00

2 場所 校長室

3 委員

	氏名	資格	所属
委員	梅本 加奈美	保護者	大阪府立柴島高等学校PTA会長
委員	表西 貴文	地域の関係者	大阪市新大阪人権協会評議員
委員	戸田 和雄	その他の関係者	大阪府立柴島高等学校後援会会長
委員	森田 英嗣	学識経験者	大阪教育大学 副学長
委員	山本 了照	地域の関係者	大阪市立淡路中学校 校長
委員	武田 緑	地域の関係者	Demo(教育ファシリテーター・武田緑事務所)代表

4 学校側（事務局）

坪内教頭、三輪首席（人権教育主担）、内田首席、堀事務長

鎌田啓（校長）

オブザーバー 山中多美男（社会福祉法人ノーマライゼーション協会理事長）

5 会議次第

○学校運営協議会 18時00分から20時00分

- ・学校長 あいさつ
- ・令和2年度学校経営計画について
- ・令和2年度人権教育推進にかかわる年間方針及び中間総括について
- ・各分掌の方針
- ・本年度の新入生の状況と要配慮生徒の支援体制について
- ・リーディングスキルテスト（RST）の結果について
- ・各分掌方針
- ・今後の予定について
- 第2回 2月上旬
- ・その他
- ・閉会 校長謝辞

【会議の要旨】

委員意見

- ・今までの取り組みを見直す時期にきている。コロナ禍で教育活動が制約されたが、様々な観点から検証するべきである。
- ・リーディングスキル向上のために言語を使っていくカリキュラムを組み込んだ、自分事の学習にしていくことが総合学科のひとつのあり方である。
- ・今は普通科に目が行き、総合学科の良さを分かっていない。その良さを広げていかねばならない。
- ・色んな科目を選択できるので、興味のあるものから入れば、自信を付けることもできて、リーディングスキル向上にもつながる。
- ・スキルテストで問うような問題を毎日沢山することも重要で短期的には効果がでてくるのではないかな。

【会議内容】

○令和２年度学校経営計画について（鎌田校長より説明）

山本）ベネッセのスタディサポートでどのような情報が生徒にフィードバックされているのか。

三輪）通常の実力テストレベルであり、各生徒の３教科の全国的な位置、校内の位置がわかり、勉強の習慣、取り組み姿勢など担任の指導に活かせる。このテストにはオプションもあるがそこまでは取っていない。

森田）定期的にして変化を見ているのか。

三輪）そのとおりで定期的の実施している。

○令和２年度人権教育推進にかかわる年間方針及び中間総括について（三輪首席より説明）

表西）目指すべきものとして現場で積み上げられてきた人権教育、昨今の言葉では **Society5.0** や **SDG s** についても触れられていて良いと思う。具体的なことで中３生の減少や府立高で定数減の話があったが、高校再編の動きはどうなっているのか。

三輪）非公式の話だが、学校の数を減少し、規模は維持したいようだ。

山本）今までの取り組みを見直す時期にきている。この時期だから次の一手を打つことを考えたらよい。新型コロナ禍で教育活動は制約されていっているが、それをピンチと考えるか逆にチャンスと考えるか。できたこととできなかったことをちゃんと検証するべき。**RST** は都構想のはしりで大阪市の８ブロックに分けたうちの第４ブロックが取り組んでいる。そこの結果も検証軸としてどんどん改革していったほしい。

○リーディングスキルテスト（**RST**）の結果について（三輪首席より説明）

表西）高校ではどれ位の学校が活用しているのか。

三輪）正確には調べないとわからないが関東の学校が多い。府内では一昨年に大正区が全小学校にやませたのが始まりと聞いている。

山本）入学者の比率では東淀川区は多い。その校長としてどうするか、本校もしっかりと考えていけないといけない。

森田）どう考えたらよいのか。次の段階でどうするか。

三輪）まず日々の授業におけるプリントの発問の仕方について、先生は意識をして、生徒はこう言いた

いんだと受け取ってしまうことが多いが、問い返すなどして、もう少し突っ込む。また教師は穴埋め問題が大好きだが、それだと生徒はそこだけを暗記することが多い。テストも含めて意味を問うようなつくりにしてほしい。

また、この前1年生約20名に大学入学共通テストの試行問題をやらせてみたが、英語の教師がその問題を見て「こんなに変わるのか」と驚いていた。今まではアクセント問題とか文法問題とかが順番に出ていたが、試行テストでは全部が大体意味が取れるかどうかというもの。問題文が色々出て質問文が英語で書かれてあって、それがどれに合致するかを選択肢から選ぶものが殆どだが、受けた生徒が「選択肢と同じ単語が本文に無い」と言っていた。先生も同じ単語を探すといったそういう勉強をしてきたが、その勉強では大学受験では通用しないことがわかった。どんな勉強の仕方をするか、何の力を付けたいかについて初心に立ち返って、問題の作り方を見直すことを提起しようと思っている。

これと併せてICTも考えている。進路に合わせた学習は一斉授業では不可能だが、GIGAで一人一台入るので一定知識を理解すればいいような内容については、個別の進路で学習できるようなアプリケーションを勉強させる。それで一斉授業はそういう形にしてコミュニケーションスキルやグループスキルを鍛えるような授業に先生が注力できるような環境を作りたい。これはすぐにはできない話でリーディングスキルとは少し離れた話である。

リーディングスキル向上のためには、テストの有りようを変える必要がある。この単語が答えられればOKではなく、この単語が意味するのはどれか、文章の意味や単語の意味が分かっていると答えられないようにする。単語の語彙そのものだけを覚えるのではダメだとそのように意識を変えていかなければならない。生徒にやさしくし過ぎていて、結果として時間ばかりかかり、生徒の力につながない感じ。それがあつさりとならゆる教科にあるが、いま国があつさりとそれを変えてきている。総合型選抜の割合が増えてきているのであれば、別に入試のためという意味でなく、生徒の力を付けていくのにはそういう意味が分かっている、それが使える力を地道に各教科で検討して少しずつやっていくという提案になっていくと思っている。

森田) RSTは何年か続けて行くのか。

三輪) はい。

鎌田) 併せて先生にもRSTを受けてもらう取り組みをしている。関係校の先生にも。

三輪) 淡路中の先生にも受けてもらった。

山本) 貧困でリーディングスキル、読解力をどう高めるかというイメージになっていて、新聞教育、読書習慣でも上がるかという感覚があるが、何かを持ってくれば上がるものでない。もっと深いものがあると私は思っている。

三輪) 何かを自分の言葉で説明させる。画像や視角イメージとリンクさせる。実体験を文章にするとか、そういったことの積み重ねをいかに12年間するかということと思っている。

森田) 多分、自分事になると頭はすごく働く。ケンカの際は論理を必死で組み立てる。学習内容を自分事にするという努力はあってもよい気がする。ただ学校教育の難しいところは、就職するまで受験にしか応用の機会がない。社会の中で使えるようになると「なぜこういう力が必要だったのか」が分かってくるようになるのだろうが、わからないまま学習を続けなければならないのはしんどいが、そこに総合学科の強みがある。社会の中で知識を活用するといったことが、その中で言語を使っていくカ

リキュラムが組み込まれていって、自分事の学習にしていくことが総合学科のひとつのあり方なのではないか。

それと進路のことで最近大学ではアドミッションポリシーを詳細に書かされていて、どういう人に来てほしいか。またカリキュラムポリシーでこの人たちをどういう風に育てるのか、卒業時にはこうなるということも書いている。これを進路指導に使えないか。大学受験でこの大学にはどんなカリキュラムがあり、どんな先生がいて、どんな人を求めているのか、そのあたりに何か関係すると思っていて、いろんな高校に使われているか聞いているが、今までに使われている高校に出会ったことがない。そういうことをやってみてもいいかと思うが、ただその文章が高校生がわかるように書かれているかは少し自信がない。

三輪) 殆どの大学で使われているアドミッションポリシーは突き詰めると主体的に勉強する姿勢。色々なことが書かれているが、結局自分で勉強をしていく、課題を見つけるとか、解決を自分からしていくとか、アグレッシブな姿勢を求めている学校が大半だと感じている。それ以外も色々書かれているが大学の共通の危機感はそれなのかと思っている。

森田) カリキュラムポリシーで職業とつなげて考えるようになればいいと思う。アドミッションポリシーも高校生にとっていいものにしなければと思っている。

三輪) 総合型選抜の場合は、生徒はアドミッションポリシーに合致するように自己申告書を書く。受験する生徒は自分の行きたい学校のものは読んでいる。

○各分掌の方針について

鎌田) 各分掌の方針をまとめたので、目を通してもらい、また何か意見があればいただきたい。

○全般について

戸田) 10数年前の柴島高校は総合学科の特色を十分活かした充実した高校だったが、10数年間ですごい変化があった。生徒は変わっていないと思う。変わったのは先生方と教育のあり方。今は普通科に目が行っていて、総合学科の良さを分かっていない。その良さを広げていかなければならない。先生方も細かいところまで見て活動されているが、まだまだ足りない。先々下手をすれば学級数の減少や統合も考えねばならず、先を見据えて運営していくと思うが、私たちも宣伝マンとして柴島の今の良さを知ってもらいたいと後援会は特に思っているので、また柴島高校を先々発展した高校にできるように少しでもお役に立ちたいと思ってこの場にいる。何か言ってもらえば一緒になって取り組みたい。

梅本) 娘がここに通っているが、入学したかった理由が自分に合っているからとかやりたい教科が得られるとか目的がはっきりしていた。入ってからも楽しくやれるのは、色々な授業を選べるのがやっぱり楽しいみたいで普通の学科にプラスして「今日は映画を見たんだよ」といった大人から見たら雑学とも思えるようなことも楽しんで興味をもって、まず入れるところが私もとても気に入っている。さっきのRSTの話も自分の興味のあることを調べるときはどんなに難しいことが書いてあっても、すごく調べて読む。学力を付ける導入の仕方がその子がすごく興味を持ったジャンルが得られて、興味があったらレベルを上げた文章や言葉で伝えてあげれば、一人ひとりが伸びていき、興味がない部分も何を書いているのかと覗いていけるような力が付くのではないかと思った。興味から入るのが、この学校選びからつながっていくのではないかと思った。

三輪) 今言われた興味から入るということは本質である。自分が興味ないことはそんなに頑張らない。梅本) 共通のもので得意、不得意がある。これならしゃべるとかそれで自信を付けて行って、積み重ねていければ、自信があるということはどんどんコミュニケーション能力も付いてくる。

三輪) うちの学校は、30年ほど前に山中さんから「なぜみんな同じ勉強をさせるのか」と怒られて選択授業を始めた。その後から総合学科が出てきて移行した。その始まりがみんなが同じ勉強をしてそれで興味を持てるかということですから怒られたことだった。それでやってきたが、残念なことに科目を減らすなど縮小しなければならない。クラス数が減って教員の数も減る。文科省が出しているデータで18年ほど前と比べて高校で教師一人が持っている授業の時間数は1週間14から19に増えている。どの先生も授業だけでも忙しくなっている。プラスして生徒支援もたくさんやっている。そうすると色んな科目を用意するという形に力を注ぐ余裕が無くなってしまう。現状は一人当たりの授業時間を減らさないで持たないようになっている。それが今の日本の現実。小学校は35人学級の灯りが見えたが、高校はいつやってくれるのかという感じ。

鎌田) 少人数でやり繰りする取り組みも最後にはあるが、委員会の懇話会でも人を減らすなど。うちの状況では、7クラスから5クラスに減り、8名の教員が減る。1学年の担任がいなくなるよりもっと減るような危機的な状況である。

山中) 小さな子どもでもスマホで調べる様子などは色々すごいと思う。読解力というが、もっと教師と生徒が色々な出来事を議論し合うことが必要。自分も社会に出てから色々な人と議論してきた。理屈をこねて議論をすることが必要である。家の中でも親子で社会の出来事について議論するとかそういうことがあまりできていないのではないかな。

武田) リーディングスキルはスキルなので授業での問いかけを変えとか、モチベーションも大事だが、スキルテストで問うような問題をドリル的に毎日沢山することも重要で短期的には効果がでてくるのではないかと感じた。

三輪) 朝の論理演習で使っているテキストの論理エンジンがドリルに当たるものと思う。リーディングスキルを鍛えるドリル的なものが今のところそれ位しか見当たらない。毎朝10分3年間やっているが十分ではなく、プラスアルファが必要と思う。

鎌田) スパイラル、繰り返しながら上がっていくものだと思う。スキルテストの結果を見て、方針を変えていかねばならない。

山中) RST の結果の分析で自学自習では力を付けるのが難しいとある。相手とのやり取りの中で鍛えること、何を言わんとしているのか、何のことで自分に迫ってきているのか、相手の心を読み取る力が必要である。それはテストのときの問題集でも分かってくるのだと思う。

鎌田) 結局コミュニケーション能力が大切。

山中) 生徒と先生が議論することが少なくなっているのではないかな。それで後は自学自習で頑張ってくれという話になっている。

表西) 三輪さんが現実を踏まえた話をしてくれた。それぞれ学校の特色があって、うちは30年先を行っていたが、最近SDGsも含めて社会が追いついてきたと言ったが、まったくその通りだと思う。ただ一方で、第4次産業革命とか言われている中で、情報化よりさらに進んだ革命とか、人生百年時代と言われる中でどんな18歳像を目指すのかとか、グローバル化とか大学でも議論されているようだが、一方で18歳の人口は減っていき、120万から80万位になる。改めて自分らが大好きだった

柴島スタイルを捉え直さねばならないのかと思った。いい勉強になった。

<次回の開催予定>

校長) 次回(2回目)の会議は2月10日18時からお願いしたい。

本日はありがとうございました。